

第 4 次おおむた男女共同参画プランの推進状況 審議会委員評価・コメント及び各課の回答

目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

【施策の方向】 2. ワーク・ライフ・バランスの推進

(1) 多様で柔軟な働き方の推進

No.	推進項目	取組概要	令和7年度実績	取組評価	審議会評価	プラン参照頁	担当課	委員のコメント	担当課回答
12	市における男性職員の子育て目的の休暇等の取得促進	子育ての始まるの時期に親子の時間を大切にし、子どもを持つことに対する喜びを実感するとともに、出産後の配偶者を支援するため、男性職員の育児のための連続休暇を取得しやすい環境づくりに取り組まします。	配偶者出産休暇:91.7% 育児参加休暇:70.8% …男性職員の子育て目的の特別休暇の取得率:81.3%	b		24	人事課	休暇取得促進のために取り組んでいることがあれば具体的に教えていただきたい。	育児等に関する多様な休暇制度等が選択できる一方で、対象者や条件等、制度内容が複雑になっていることから、休暇制度等に関する資料を作成しており、当該資料による職員周知を行っています。また、休暇等が取得しやすい職場環境づくりのため、管理監督職を対象に育児関連休暇制度の研修や各休暇の取得状況等の情報共有を行っています。あわせて、所属において子どもが生まれる職員の情報を把握した場合は人事課へ報告するよう周知し、人事課より個々の職員に休暇制度の説明を行っています。

【施策の方向】 4. 地域・社会活動における男女共同参画の推進

(1) 地域団体等における意思決定への女性の参画促進

No.	推進項目	取組概要	令和7年度実績	取組評価	審議会評価	プラン参照頁	担当課	委員のコメント	担当課回答
19	地域団体等における各種研修を通じた女性の人材育成及び活用	地域団体等が参加する各種研修等において地域活動を行う女性の人材発掘や育成、活用のための啓発を行います。	大牟田市校区まちづくり協議会の研修において、各校区の事業を共有し、女性が参加しやすい運営の工夫等について意見交換を行いました。なお、令和5年度に引き続き、6年度の自治会長に占める女性の割合は、県内では大牟田市が最も高く、地域団体等における女性の人材育成及び活用のための啓発が推進されていると考えられます。 講演会等を開催する際には、市政参画推進ネットワーク プラネットおおむた事業等を活用し、情報提供を行い参加促進を図りました。また、県主催の研修会等は、市ホームページへの掲載や地区公民館等へチラシを設置するなど、周知に努めました。	b		29	地域コミュニティ推進課 人権・同和・男女共同参画課	令和7年度の実績欄に令和6年度の自治会長の割合等が記載されていますが、令和7年度も同様と捉えてよろしいでしょうか。	例年、内閣府ホームページの「市区町村女性参画状況見える化マップ」により回答を作成していますが、現在公表されている最新データが令和6年度となっているため、6年度ベースで回答を作成しております。

目標Ⅱ 誰もが安全・安心に暮らせる社会の実現

【施策の方向】 4. 防災・減災における男女共同参画の推進

(1) 防災・減災対策への男女共同参画の視点の取り入れ

No.	推進項目	取組概要	令和7年度実績	取組評価	審議会評価	プラン参照頁	担当課	委員のコメント	担当課回答
48	女性消防団員の確保	令和4(2022)年4月1日現在の女性消防団員数は41名であり、全団員数の5.9%を占めています。国（第5次男女共同参画基本計画）が掲げる当面の目標値5.0%以上を維持するため、毎月の分団長会議において団員の増減数を示し、加入促進事業に対する関心を高め、女性消防団員の加入促進を図ります。基本団員としての活動のほか、火災予防活動や応急手当講習等、幅広い分野での活躍を担います。	令和6年度に引き続き、毎月の分団長会議において女性団員数増減の情報を提示し情報共有・共通認識を図りました。さらには、地域イベントや地域活動で消防団加入促進活動を展開し女性消防団員の認知度向上、活躍の機会創出を図りました。また、組織機構を見直し、女性分団については、団本部付から独立した分団とし位置付けることとしました。実績：令和8(2026)年4月1日現在の女性消防団員数34名(全消防団員数に占める割合 約6.2%)	b	(a)	41	消防本部総務課	・組織の見直しをされた事、独立した分団として位置付けられた事 ・女性消防団員数34名(目標値の5%以上を上回る6.2%である事)でa評価としました。	女性分団として独立し、消防団の加入促進をはじめ、火災予防広報を主として活動を行っております。今後は応急手当法の習得も目指し、消防本部が行う講習会の支援など新たな取り組みを行い、更なる署団の連携強化にも期待しているところです。また、女性分団の所属に限らず、各校区の地域分団にも女性加入が進んでおり、消防車の機関操作やポンプの取り扱いなど技術習得に向けた研修等も検討していきたいと考えております。

目標Ⅲ 男女がともに生きる社会の実現への意識づくり

【施策の方向】 1. 男女共同参画の浸透を図る学習・啓発の推進

(2) 男女共同参画の浸透を図る学習・啓発の推進

No.	推進項目	取組概要	令和7年度実績	取組評価	審議会評価	プラン参照頁	担当課	委員のコメント	担当課回答
54	男女共同参画の周知・啓発の推進	男女共同参画について理解の促進や、意識を醸成するため、講演会等の開催や「男女共同参画週間」等の機会に広く市民に向けて周知・啓発を行います。また、男女共同参画センター情報誌「レインボー」を発行します。	男女共同参画推進事業の取組みとして、男性の家事・育児への参画についての講演会(6月28日)や育児の共有についての講演会(10月18日)を開催しました。また、国が定めた「男女共同参画週間」や福岡県の「男女共同参画の日」に合わせて、男女共同参画に関する記事などを広報おおむたやホームページへ掲載し周知・啓発に取り組みました。3月には、令和7年度に男女共同参画センターが実施した事業などを掲載した情報誌「レインボー」を発行しました。	a	(a)	46	人権・同和・男女共同参画課	男性の家事・育児への参画についての講演会や育児の共有についての講演会は、興味深くテーマも良かったが、男性にもっと参加していただきたかった。市の広報・HP以外にも各事業所・各団体の男性会員等への積極的な参加を促す取組みも必要ではないか。	講演会の周知につきましては、市広報紙・HPのほか、市公式ライン、愛情ねっと、福岡県男女共同参画センターあすばるのHPでもお知らせをしております。チラシ・ポスターについては、市内の公共施設、大型商業施設、REStation(大牟田駅西口)に配架・掲示するほか、市内の保育所、幼稚園、学校(小・中・高等学校、高等専門学校、大学)、大牟田商工会議所、JAみなみ筑後等、約80カ所へ送付をしております。今後も、効果的な周知方法について検討してまいります。
56	家庭教育支援講座の実施	各小中学校の入学説明会の機会に実施する就学前子育て講座や、成長過程に応じた子育て支援講座等を実施し、男女共同参画の視点に立った積極的な子育てへの参加を促進します。	家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、子どもの成長過程に応じた子育て支援講座を各館1～2講座、計8講座を実施しました。	a		46	生涯学習課	講座の概要(テーマ等)と講座の参加人数(男女比を含む)が分かれば教えていただきたい。	8講座で大人延べ292人(男:37人、女:255人)参加 【乳幼児の保護者対象】 ・音楽を活用したリズム遊び、及びアロマによるリラクゼーション体験講座 ・親子リズム遊びと公立保育所と連携した子育て相談 ・乳幼児期の発達・遊び・必要な栄養について学び、簡単に栄養バランスの良い料理実習を含めた子育て講座 ・子どもとの関わり方やあそびについてグループワーク形式で学び、情報交換や仲間づくりを支援する講座 ・講話と読み聞かせの実演により、子育ての不安を和らげるために必要な知識を学び、親子の触れ合いを深めることを目的とした子育て講座 【小学生の保護者対象】 ・子どもの発達段階に応じたかかわり方を学び、効果的なコミュニケーション方法を身につける講座 【小学生以上の保護者】 ・ネット利用に関するリスク・対応策などデジタル時代の子育てについて、保護者として注意すべきポイントを学び、家庭での実践につなげることを目的とした講座 ・不登校をテーマにした、保護者や支援者が子どもとの関わりの可能性を見直し、希望を持てる視点を得ることを目的とした講座